

(2020年12月21日～2021年1月3日)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html>

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 新型コロナウイルス感染症の報告が第52週に469例(男性223例(10歳代8例, 20歳代21例, 30歳代25例, 40歳代38例, 50歳代42例, 60歳代32例, 70歳代33例, 80歳代18例, 90歳代2例, 年齢非公開4例), 女性237例(10歳代4例, 20歳代45例, 30歳代31例, 40歳代30例, 50歳代36例, 60歳代22例, 70歳代25例, 80歳代32例, 90歳代7例, 100歳代1例, 年齢非公開4例), 年齢及び性別非公開9例)あり, 累積報告数は3,112例となりました。

新型コロナウイルス感染症の報告が第53週に462例(男性222例(10歳代13例, 20歳代34例, 30歳代30例, 40歳代31例, 50歳代39例, 60歳代30例, 70歳代18例, 80歳代20例, 90歳代1例, 100歳代1例, 年齢非公開5例), 女性219例(10歳代11例, 20歳代48例, 30歳代23例, 40歳代23例, 50歳代32例, 60歳代15例, 70歳代29例, 80歳代22例, 90歳代11例, 100歳代1例, 年齢非公開4例), 年齢及び性別非公開21例)あり, 累積報告数は3,574例となりました。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が第52週に1例(70歳代男性)あり, 症状は発熱, 意識障害, 肺炎, 菌血症です。感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は5例となりました。
- 梅毒の報告が第52週に1例(70歳代男性), 第53週に1例(40歳代男性)ありました。本年の累積報告数は60例となりました。
- 百日咳の報告が第52週に1例(50歳代女性)あり, 症状は持続する咳です。感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は19例となりました。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

本市において2020年に広報された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のPCR検査陽性者数は合計3,369例, 同死者数は45例で, 致命率は1.3%でした。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

(性別, 年齢, 症状, 感染地域^{*}, 感染経路^{*}の順に掲載。ただし, 結核は除く。)

【2020年第52週】

- 二類: 結核 11例(肺結核4例, その他結核4例, 潜在性結核感染者3例)うち喀痰塗抹陽性1例
【1月以降の累積報告数 258例(肺結核 115例, その他結核 60例, 潜在性結核感染者 83例)うち喀痰塗抹陽性 52例】
- 指定感染症: 新型コロナウイルス感染症 469例【1月以降の累積報告数 3,112例】
男, 223例(10歳代8例, 20歳代21例, 30歳代25例, 40歳代38例, 50歳代42例, 60歳代32例, 70歳代33例, 80歳代18例, 90歳代2例, 年齢非公開4例)
女, 237例(10歳代4例, 20歳代45例, 30歳代31例, 40歳代30例, 50歳代36例, 60歳代22例, 70歳代25例, 80歳代7例, 100歳代1例, 年齢非公開4例)
年齢及び性別非公開, 9例
- 五類: 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 5例】
- 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 59例】
- 五類: 百日咳 1例【1月以降の累積報告数 19例】

【2020年第53週】

- 二類: 結核 3例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者2例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 261例(肺結核 116例, その他結核 60, 潜在性結核感染者 85例)うち喀痰塗抹陽性 52例】
- 指定感染症: 新型コロナウイルス感染症 462例【1月以降の累積報告数 3,574例】
男, 222例(10歳代13例, 20歳代34例, 30歳代30例, 40歳代31例, 50歳代39例, 60歳代30例, 70歳代18例, 80歳代20例, 90歳代1例, 100歳代1例, 年齢非公開5例)
女, 219例(10歳代11例, 20歳代48例, 30歳代23例, 40歳代23例, 50歳代32例, 60歳代15例, 70歳代29例, 80歳代22例, 90歳代11例, 100歳代1例, 年齢非公開4例)
年齢及び性別非公開, 21例
- 五類: 梅毒 1例【1月以降の累積報告数 60例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

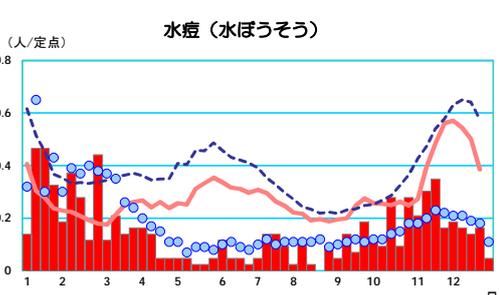
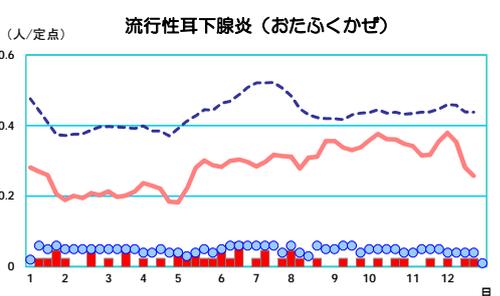
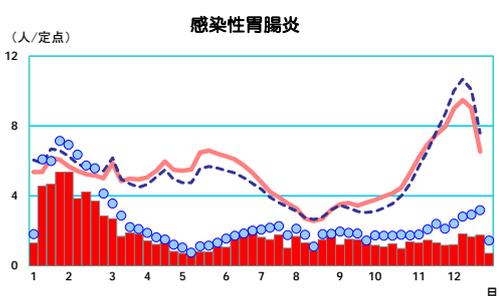
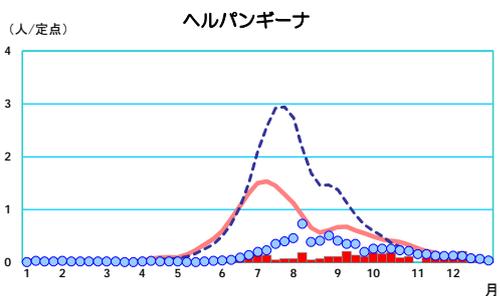
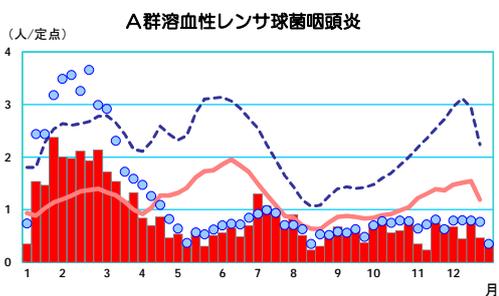
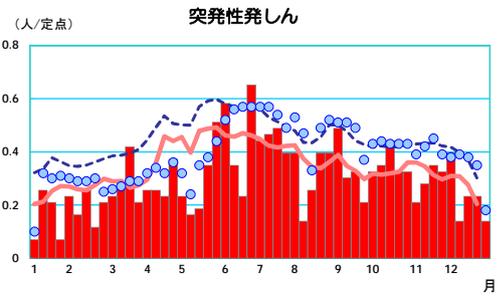
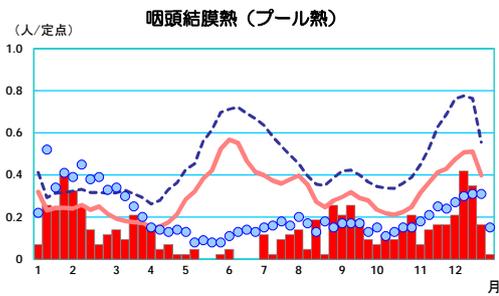
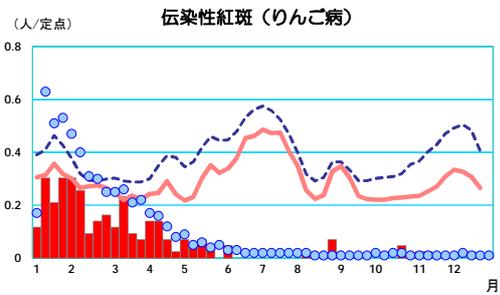
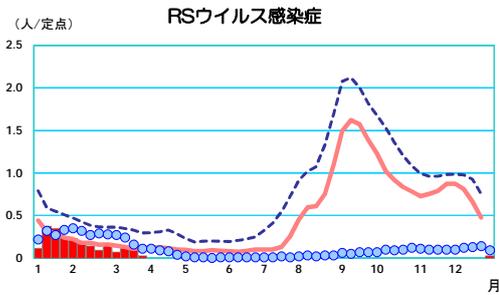
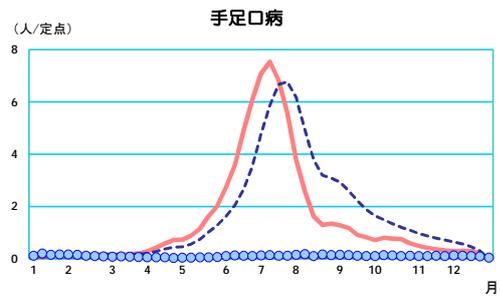
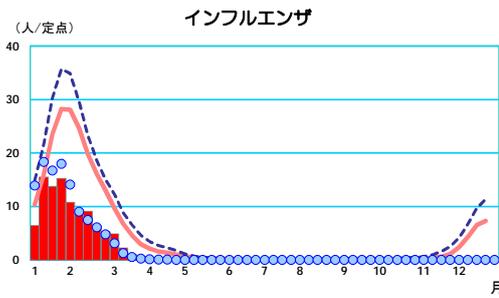
定点	2020年 第52週			2020年 第53週		
	感染症名	定点当たり報告数	報告数	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.00	0	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.74	75	① 感染性胃腸炎	0.70	30
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.47	20	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.33	14
	③ 突発性発疹	0.23	10	③ 突発性発疹	0.14	6
	④ 咽頭結膜熱	0.16	7	④ 水痘	0.05	2
	④ 水痘	0.16	7	⑤ RSウイルス感染症	0.02	1
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2	⑤ 咽頭結膜熱	0.02	1
				⑤ ヘルパンギーナ	0.02	1
				流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

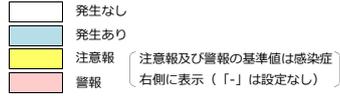
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス<新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 2021年1月8日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
^{*}感染地域及び感染経路については推定を含みます。

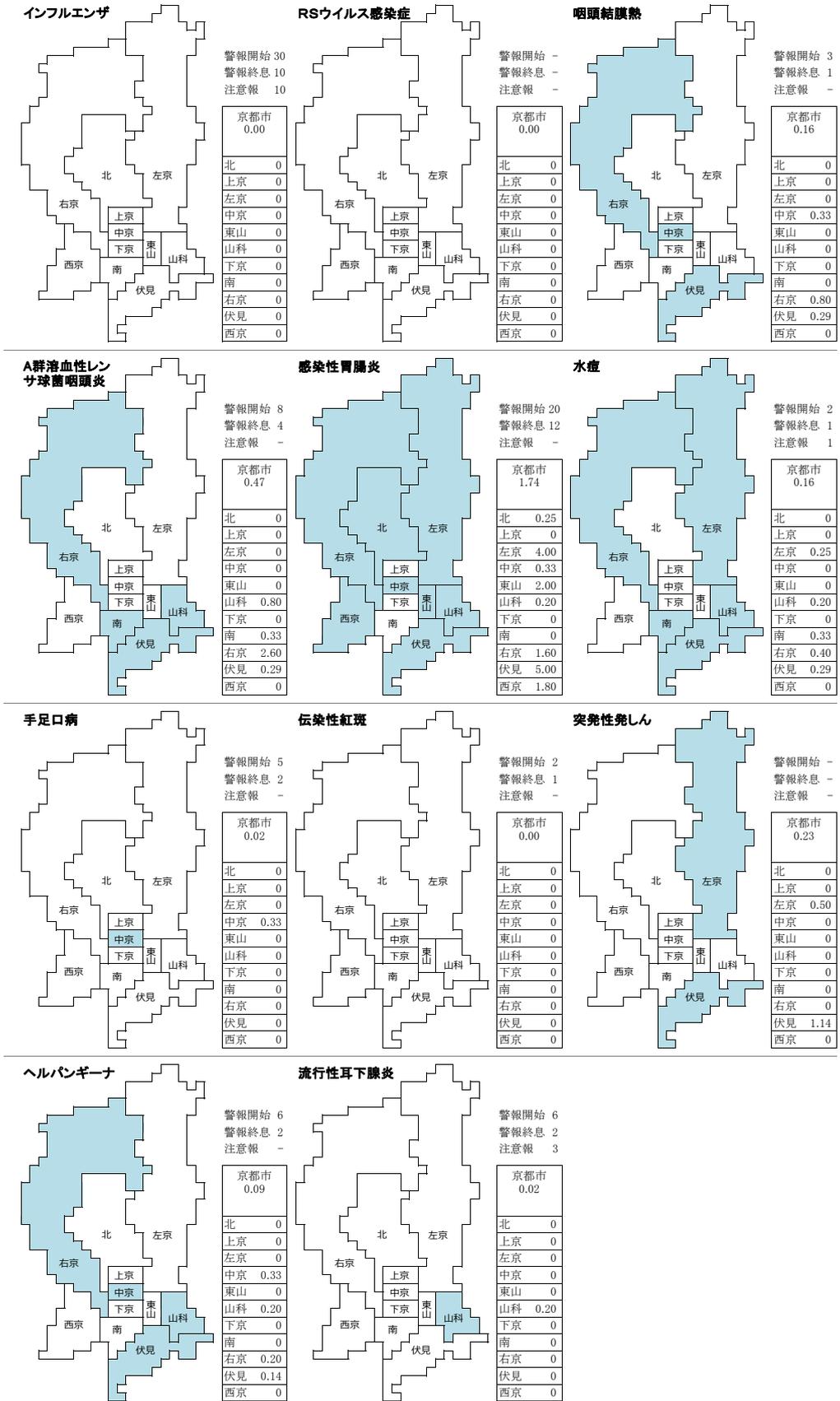
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



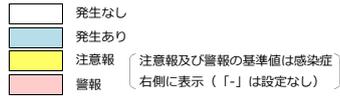
インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第52週】



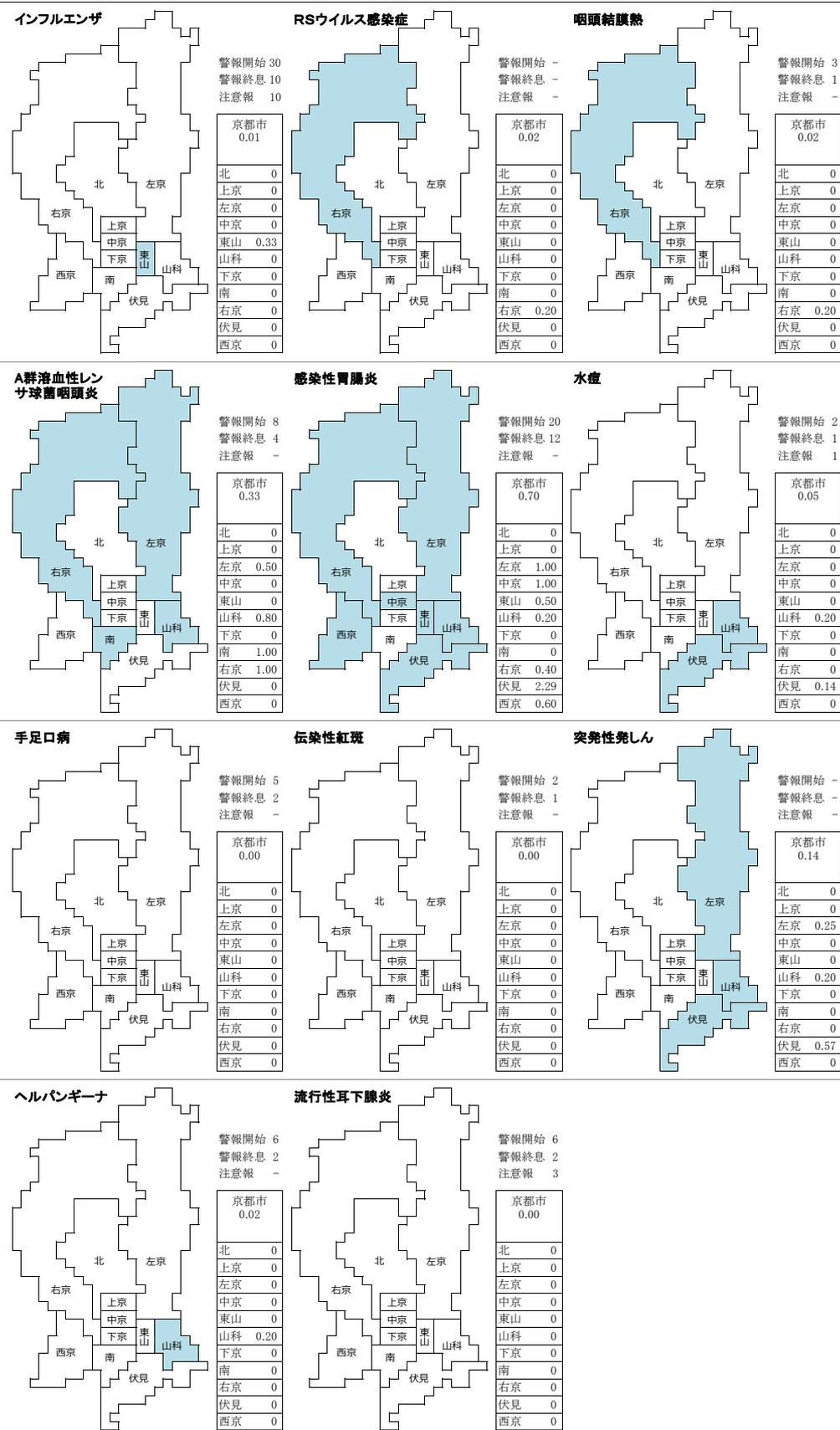
※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第53週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第53週(12月28日～1月3日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

本市において2020年に広報された新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のPCR検査陽性者数は合計3,369例、同死亡者数は45例で、致命率は1.3%でした。罹患率は0.23%であり、言い換えると本市人口500人あたり年間1人が陽性と報告されたこととなります(以下、表1)。全国では、罹患率は本市より少ないものの、致命率は1.5%とわずかに高く、特定の地域での高い死亡者数が影響している可能性があります(たとえば、旭川市の人口は約33万人と本市より少ないですが、2021年1月6日時点で死亡者数は77例です)。また、世界の合計と比べると、日本の罹患率は5分の1以下であり、致命率は約3分の2と、低く抑えられています。しかしながら、ひとたび感染が拡大し始めると、陽性者及び死亡者は指数関数的に増加するため、依然として予断を許さない状況にあります。

日本の各都市の発生状況を人口10万人あたり報告数の週移動平均で比較すると、本市は11月まで全国とほぼ同じように推移していましたが、12月には全国の2倍以上に増加し、他の各都市と同程度かやや高い水準になっています(図1)。他の都市をみると、どの都市も7月から9月には概ね一致するピークが見られるのに対し、10月以降は各都市によって時期が異なるピークが発生しており、流行動向が多様化しているとみられます。

2020年1月から5月に本市で広報された陽性者を第一波、同6月から9月を第二波、同10月から12月を第三波と定義して分け、年齢階級別に比較すると、第一波では全陽性者に占める29歳以下の割合が約20%と最も少なく、60歳以上の高齢者の割合が約40%と最も多かったようです(図2)。次の第二波では、一転して29歳以下の若者の割合が約45%に増加し、60歳以上の割合は20%以下に減少しました。続く第三波では、どちらも約30%と第一波と第二波の間のような割合になり、現在は全ての年齢層に感染が広がっていると推測されます。

2021年1月6日現在、京都府の新型コロナウイルス感染症の流行状況は「特別警戒基準」に達しています。引き続き、感染予防対策の徹底をお願いいたします。

表1. 2020年のCOVID-19の罹患率・致命率比較(カッコ内は単位)(*)

	人口(人)	陽性者数(例)	死亡者数(例)	罹患率(/年)	致命率(-)
本市	約147万	3,369	45	0.229%	1.34%
日本	約1.26億	233,785	3,459	0.186%	1.48%
世界	約78.0億	83,424,446	1,818,116	1.07%	2.18%

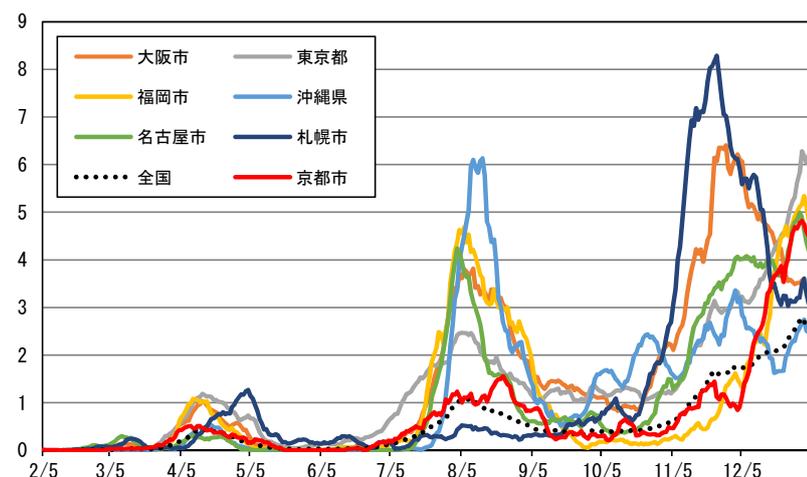


図1. 日本の地方ごとのCOVID-19報告数(人/人口10万人)(*)

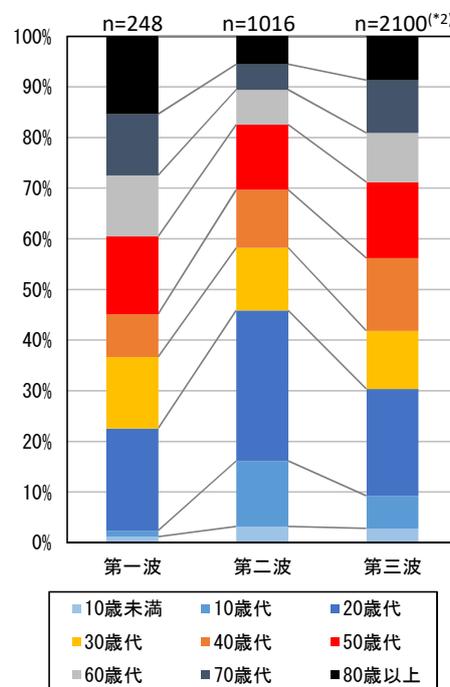


図2. 本市の流行段階ごとのCOVID-19陽性者の年齢階級

(*)2021年1月6日時点。陽性者数は再感染と診断された症例を含む。

(**)年齢非公開の5例を除く。

発熱等の症状がある場合は？

- ・「熱がある」「体がだるい」「のどが痛い」等、風邪の症状がある時は、身近な医療機関に、まず電話でご相談ください。
- ・詳しくは、下記の京都市ホームページをご覧ください。

○京都市情報館「新たな診療・検査体制について」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000277047.html>

【参考情報】

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第52週

疾病,行政区別報告数

2020年12月21日～2020年12月27日

データ入手日:2021年1月5日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	16	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	1	-	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	4	1	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	4	13	8	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	2	2	35	2	-	-	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	7	20	75	7	1	-	10	4	1	-	2	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染性紅斑	突 発性発しん	ヘル パンギーナ	流 行性耳下腺炎	急 性出血性結膜炎	流 行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌性髄膜炎	マイ コプラズマ肺炎	クラ ミジア肺炎 (※3)	感 染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	-	4.00	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	0.33	-	0.33	-	0.33	-	-	0.33	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.80	0.20	0.20	-	-	-	0.20	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	0.80	2.60	1.60	0.40	-	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.29	0.29	5.00	0.29	-	-	1.14	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	1.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.16	0.47	1.74	0.16	0.02	-	0.23	0.09	0.02	-	0.20	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第52週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年12月21日～2020年12月27日

データ入手日:2021年1月5日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		7	-	-	2	2	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		20	-	-	3	2	3	3	-	5	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		75	-	5	10	11	7	8	10	3	1	2	1	7	1	9	-	-	-	-	-	-	-
水痘		7	-	2	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		10	-	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.16	-	-	0.05	0.05	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.47	-	-	0.07	0.05	0.07	0.07	-	0.12	0.02	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.74	-	0.12	0.23	0.26	0.16	0.19	0.23	0.07	0.02	0.05	0.02	0.16	0.02	0.21	-	-	-	-	-	-
水痘		0.16	-	0.05	0.05	-	-	-	-	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.23	-	0.07	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.09	-	0.02	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第53週

疾病,行政区別報告数

2020年12月28日～2021年1月3日

データ入手日:2021年1月8日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	2	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	4	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	1	1	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	-	16	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1	1	1	14	30	2	-	-	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘルパンギーナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無 菌 性 髄 膜 炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)
男女合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.50	1.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.80	0.20	0.20	-	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	0.20	0.20	1.00	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	-	-	2.29	0.14	-	-	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.01	0.02	0.02	0.33	0.70	0.05	-	-	0.14	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第53週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年12月28日～2021年1月3日

データ入手日:2021年1月8日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		14	-	1	1	2	-	2	1	2	1	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		30	1	5	3	2	1	4	2	5	1	1	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	
水痘		2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		6	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.33	-	0.02	0.02	0.05	-	0.05	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		0.70	0.02	0.12	0.07	0.05	0.02	0.09	0.05	0.12	0.02	0.02	-	0.07	-	0.05	-	-	-	-	-	-	
水痘		0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.14	-	0.05	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第53週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年1月8日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	1	-	-	1
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	1
咽頭結膜熱	7	9	18	15	7	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	29	19	35	20	14
感染性胃腸炎	50	51	78	71	75	30
水痘	7	8	7	6	7	2
手足口病	6	-	1	3	1	-
伝染性紅斑	-	-	-	1	-	-
突発性発しん	14	17	6	10	10	6
ヘルパンギーナ	4	4	9	4	4	1
流行性耳下腺炎	-	1	-	1	1	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	5	-	2	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	119	119	144	146	127	56

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	0.01	-	-	0.01
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	0.02
咽頭結膜熱	0.16	0.21	0.42	0.35	0.16	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.70	0.67	0.44	0.81	0.47	0.33
感染性胃腸炎	1.16	1.19	1.81	1.65	1.74	0.70
水痘	0.16	0.19	0.16	0.14	0.16	0.05
手足口病	0.14	-	0.02	0.07	0.02	-
伝染性紅斑	-	-	-	0.02	-	-
突発性発しん	0.33	0.40	0.14	0.23	0.23	0.14
ヘルパンギーナ	0.09	0.09	0.21	0.09	0.09	0.02
流行性耳下腺炎	-	0.02	-	0.02	0.02	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	0.50	-	0.20	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2.84	2.77	3.72	3.40	3.11	1.29

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。